

## 平成30年度 3学期終業式 式辞

皆さん、おはようございます。今日で、平成最後の年度が終わります。

去年の4月に、一年間の目標をたてたと思いますが、振り返って見て、いかがでしたか。思うような一年となりましたか。そのようになった人、ならなかった人様々だと思います。何れにしてもこの一年で経験したことがあったからこそ今の君たちがあるのです。もし思うようにいかなかった一年だったとしても、決してマイナスに考えることのないようにしてください。失敗や成功があったおかげで今があるのです。そしてまた、失敗は成功のもとです。粘り強く頑張ってください。

さて、皆さん。

①今年度の教育活動で一番印象に残っているものは何でしょうか。

1年生は、オリエンテーション合宿ですか。2年生は、行き先を変更しましたが修学旅行ですか。それとも、文化祭、体育大会、マラソン大会でしょうか。あるいは、各学年で取り組んだ教育活動でしょうか。これらの全ての取り組みが、皆さんの経験値を高めるための要素となります。次年度も本年度同様に精一杯取り組んでほしいと思います。

2つ目は、話題を変えて

②マリナーズのイチロー選手の現役引退から思うこと。

日本で9年、メジャーリーグで19年、野球に専念してきたイチロー選手には敬服に値する(感心して尊敬する)ものがあります。皆さんが生まれる10年以上前、当時のオリックスブルーウェーブ(本拠地 神戸グリーンスタジアム)に所属していたイチロー選手が、当時から振り子打法と言われた打ち方で、ヒットを量産したことは、私の記憶には鮮明に残っています。日米通算4000本以上のヒットを打ち、記憶にも記録にも残る選手でした。

これまでの固定観念にとらわれず、しかし基礎・基本を外さず大切にしている、このユニークで独創的な発想が、イチローと言う個性を作り出していたように思います。

(参考 西宮球場を本拠地とした阪急ブレーブス、オリックスブレーブスとなり、1990年に神戸のグリーンスタジアムに本拠地を移転しオリックスブルーウェーブとなった。)

皆さんも、基礎・基本をしっかり学んだ上で独創的に取り組んでほしい。

終わりに、

③各クラブ活動も1年間よく頑張りました。

特に、陸上部は、全国大会に出場することができました。宝塚のゼッケンをつけて大舞台で頑張っている姿には感動しました。賛辞を送ります。

物事には、どうしても成果や結果がつきまといいますが、結果を気にせず、頑張ってください。一番大事なことは、そこに至るまでのプロセスであることを忘れてはいけません。皆さんには、まだまだ沢山の可能性があります。

皆さん、次年度に向けて、充実の春休みを過ごしてください。そして、元気な顔を見せてください。

以上で式辞といたします。